

# ぶちくれだより

吹く風が冷たくなり、寒い季節となりました。体調に気を付けていきたいですね。9月は『ミニうんどう会』、10月は『ハロウィン』、11月は『秋を探しに』と企画を行い楽しんでいただきました。

## 9月の企画

### そよかぜクラブ

2組の親子が参加してくださいました。ビニールのバナナ、にんじん作りでは、目を描いて楽しむ様子や新聞紙を丸めて入れるお手伝いを嬉しそうにしていました。出来た野菜、果物をパンダとうさぎに運ぶときは走って何度も往復しました。全部運び終わった時はみんなから拍手喝采をもらって良い笑顔を見せてくれました。



## 10月の企画

### なかよしクラブ

1組の親子が参加してくださいました。0歳児さんだったので、制作はママが頑張ってくれました。仰向けで寝ているところにお化けをヒューンと飛ばすと、お化けの動きやカサカサという音に目をキラキラさせてニコリ笑顔が見られました。



### 南大谷クラブ

3組の親子が参加してくださいました。0歳児さんはお母さんが、1歳児さんはお母さんと一緒に作りました。紙コップにビニールや折り紙の目・口・手を付けたり、キラキラした折り紙やシールを付けたりして、かわいいお化けやお化けカボチャを作りました。のりを使うことが楽しくて沢山折り紙を貼り、時間ぎりぎりまで楽しく工作をしていました。



### どろん子クラブ

1組の親子が参加してくださいました。工作大好きなお子さんで、お母さんと一緒に今回の企画ハロウィン工作にも関心を持って取り組んでくれました。お母さんの「このシールをはがして、ここにくっつけるよ」と声かけ、上手に制作が



## 11月の企画

### そよかぜクラブ

今年度初の試みで、外に出て『秋を探しに』行く企画でした。当日は秋晴れの気持ちが良い日で、2組の親子が参加してくださいました。筒形の入れ物にどんぐりを入れたり、落ち葉を踏んで音を楽しんだりしました。他の子と歩くといつもより良く歩いているなど驚きの声があり、のんびりと楽しいお散歩ができました。



## 今後の予定

各開催クラブ、先着5組までとなります。



ご利用の際は開催クラブへご予約のお電話をお願いします。開催時間 10:30~11:30



【1月】**開放**18日、25日 **企画**11日「おはなし会」

【2月】**開放**1日、22日 **企画**8日「バレンタイン」【3月】**開放**1日 **企画**8日「おおきくなったね」

## もしもの時のために知っておきたい防災準備

今回は防災準備について特集しました。災害は、いつどんな時に起こるかわかりません。小さなお子さんや家族の命を守るためにできることは何か、防災準備についていくつかあげてみました。ご家庭でも話し合ってみてください。



### \*防災準備① 室内の安全性を確認する



室内環境について、改めて確認してみましょう。チェックポイントとしては、大型家電などは転倒しないようになっているか、ガラスや陶器など割れるものはないか、または窓ガラスなど飛散しないようになっているか、避難経路確保のために入口付近に物は置いていないかなどがあげられます。災害が起こった時をイメージしながら実際に動いてみると、対応策を考えやすいかもしれません。



### \*防災準備② 非常用持ち出しグッズなどを備える

非常用持ち出しグッズを、すぐ手に取れる場所に準備しておくことも、いざという時に安心です。また小さなお子さんがいる場合、抱っこをして移動ができるように必要最低限なものに絞っておくことや持ち出し時のことを想定することもポイントです。小さなお子さんは、いざ使う時に嫌がってしまうこともあるため、液体ミルクや使い捨て哺乳瓶、ベビーフードなどは平時に試しておくとも、安心ですね。

### \*防災準備③ 連絡方法・避難場所などを確認する

避難時の家族との連絡方法を相談しておくこともポイントです。ママかパパが1人でお子さんと自宅にいる時、ママ・パパが仕事でお子さんが預け先にいる時など、様々な場面を想定して連絡手段を相談しておくとも安心です。災害用伝言ダイヤル（171）や防災アプリなどを活用することも一つの手段です。またハザードマップを確認し、避難経路を確認したり、ご近所同士の知り合いを作り地域の力を借りたりすることも、いざという時の備えになります。



## こんなものも調べると便利！

- ・あそびは子どものストレスの解消にもつながります。子どもがちょっと遊べるものが持ち出しグッズにあると良いですね。手遊びやなぞなぞなど、その場にあるもので遊べると子どもたちの避難生活の支えになるかもしれません。
- ・ペットボトルの食器やポリ袋でクッションなど身近なもので代用品を作ることができます。避難生活などで役立つ知恵や工夫も防災準備として調べておくともよいでしょう。

